

## 今週の株式相場見通し

- \* 日経平均 28,000~29,000円 TOPIX 1,820~1,890
- \* 期待材料 米追加経済対策の早期成立 新型コロナワクチンの普及による感染拡大の抑制
- \* 不安材料 新型コロナ変異種の感染拡大 米追加経済対策の成立遅延 高値警戒感

バイデン大統領は就任直後に「パリ協定」への復帰などや、25日に「バイ・アメリカン」法に署名した。しかし議会の承認が必要な1.9兆ドルの追加経済対策に対し、共和党の反対で早期成立が難しくなるとの見方が広まっていることに加え、足元で新型コロナワクチンの普及が遅れていること、海外からの入国制限を再び導入したことなどにより、景気の先行き懸念が重荷となり、米市場で景気敏感株が弱含む展開が続いた。一方で、19日に決算発表した米大手配信 Netflix の決算内容が市場予想を上回り大幅上昇したことなどから、巣ごもり関連株や、Apple や Microsoft などの決算期待から、ハイテク株などが週前半に買われたが、27日に好材料出尽くし感から米市場は大幅安となった。日本では、相次ぐ半導体の需給逼迫報道から物色対象が、再生可能エネルギー株やEV関連株から半導体株を中心とした相場展開にシフトしている。5Gの商用化本番で基地局投資の加速や、5G対応スマートフォンの量産、EVへのシフトを含む自動車電装化の進展に加え、テレワーク導入が一層高まる見通しを背景に通信機器などの需要が増加している。また日米欧独の政府が台湾の世界的半導体ファウンドリ TSMC などに増産を要請したことを受け、TSMC が値上げを検討すると発表するなど、半導体製品全般に値上げの見方が広がり、半導体関連株に業績改善期待が続いた。一方で、自動車関連は半導体の需要逼迫から減産の検討や、半導体の値上げによるコストアップを懸念し軟調な推移となったほか、ANA が国際線の運休本数を増やすなど回復の見通しが不透明な状況となり、経済正常化を見越し物色されてきた景気敏感株が軟調だった。クラウド関連の比率が高いマザーズ銘柄の物色も一巡感がある。決算発表の本格化を前に足元の業績回復は織り込まれているとの見方が広がっており、更なる成長が見込めるかどうかには市場の視線は向いている。指数は大きな動きがあったが、トレンドは崩れておらず揉み合いが想定される。DX化へ向けた対応力などにより個別株物色の強い展開になりそうだ。(1月28日現在、志田 憲太郎)

## 今週の予定

|            | 国内   | 海外   |
|------------|--|--|
| 2/1<br>(月) | ローム(6963)3Q決算<br>任天堂(7974)3Q決算                 | [中]1月財新製造業PMI(10:45)<br>[米]1月ISM製造業景況指数(24:00)                           |
| 2(火)       | パナソニック(6752)3Q決算<br>デンソー(6902)3Q決算             | [露]反体制派指導者ナワリヌイ氏の過去の執行猶予付き有罪判決を実刑に替えるかについての審議                            |
| 3(水)       | 花王(4452)本決算<br>ソニー(6758)3Q決算<br>三井物産(8031)3Q決算 | [中]1月財新サービス業PMI(10:45)<br>[米]1月ADP雇用統計(22:15)<br>[米]1月ISM非製造業景況指数(24:00) |
| 4(木)       | 三菱UFJFG(8306)3Q決算                              | [英]中央銀行政策金利(21:00)   |
| 5(金)       | ダイフク(6383)3Q決算<br>三井不動産(8801)3Q決算              | [印]中央銀行政策金利(15:15)<br>[米]1月雇用統計(22:30)                                   |
| 6(土)       | 全国高校スキー大会(～10日)                                | [英]エリザベス2世の女王即位から69年   |
| 7(日)       | 11都府県の緊急事態宣言の期限                                | [米]第55回スーパーボウル   |

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄 **ローツェ (6323)** 東証1部



|        | 19年02月期<br>(百万円) | 前年比    | 20年02月期<br>(百万円) | 前年比   | 21年02月期(予)<br>(百万円) | 前年比   | 株価(1/28)  | 7,950 円  |
|--------|------------------|--------|------------------|-------|---------------------|-------|-----------|----------|
| 売上収益   | 31,368           | -40.0% | 37,103           | 18.3% | 45,905              | 23.7% | 業種        | 機械       |
| 営業利益   | 5,812            | 37.2%  | 7,743            | 33.2% | 8,273               | 6.8%  | 時価総額      | 1,438 億円 |
| 経常利益   | 5,976            | 35.7%  | 7,517            | 25.8% | 8,298               | 10.4% | PER(予想)   | 22.27 倍  |
| 当期純利益  | 4,397            | 60.3%  | 5,470            | 24.4% | 6,325               | 15.6% | PBR(実績)   | 4.77 倍   |
| EPS(円) | 254.48           |        | 316.57           |       | 366.04              |       | ROE(実績)   | 23.85 %  |
| 配当金(円) | 25               |        | 30               |       | 30                  |       | 配当利回り(予想) | 0.37 %   |
|        |                  |        |                  |       |                     |       | 担当        | 松本 直志    |

出所:業績に関する数値は決算短信、決算説明会より

半導体ウエハ搬送ロボット、EFEM(半導体ウエハの収納容器と製造装置との間でウエハの受け渡しを行う装置)、ウエハソータ(ウエハ収納容器間でウエハの入れ替えを行う装置)、N2(窒素)パージ対応ウエハストッカ(窒素を活用しウエハの酸化や品質悪化を抑えたウエハ保管装置)、フラットパネルディスプレイ(FPD)向けガラス基板搬送装置、ガラス基板切断装置などが主力商品。21年2月期3Q累計決算の装置別売上構成比は半導体関連装置が65.0%、FPD関連装置が26.4%。主要顧客は米アプライドマテリアルズ(AMAT)と台湾のTSMCで、21年2月期3Q累計の顧客別売上構成比はAMATが15.7%、TSMCが12.6%。

3Q累計決算は前年同期比44.7%増収、18.5%営業増益、受注は48.8%増、受注残は21.2%増。EFEM、ウエハソータなどの販売が引き続き好調に推移したことに加え、韓国サムスン向けFPD関連装置の大口受注の販売も寄与。半導体関連装置は前年同期比23.5%増収。主要顧客のAMAT向けが前年同期比55.1%増収、TSMC向けが47.0%増収と好調に推移し他、中国の製造装置メーカー向け売上は前年同期比で倍増した。受注は、米国、中国の製造装置メーカー向けが伸び前年同期比34.2%増加。台湾、米国、中国などで、今後も新規設備投資の受注は拡大見込み。FPD関連装置の売上は、サムスン向けがけん引し前年同期比3倍に拡大。受注も前年同期比2.9倍に拡大したが、大口受注は一段落しており、来期の新規大口受注獲得に注力する方針。

TSMCは21年の設備投資額を20年の172億ドルに対して250~280億ドルへ拡大させる方針を発表しており、AMATも受注残を豊富に抱え、DRAMを中心に21年の業績見通しに前向きな姿勢を示している。中国ではメモリやファウンドリなどで投資が行われており、中国の製造装置メーカーからの受注拡大も見込まれ、主力の半導体関連中心に業績は拡大基調が続くものと思われる。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願ひ致します。

## 説明会より

| 銘柄<br>(コード)<br>市場<br>株価(1/28)                    | コメント   |
|--|--|
| <b>ラクト・<br/>ジャパン</b><br>(3139)<br>東証1部<br>2,614円 | 20年11月期決算は前年同期比5.1%減収、1.2%経常増益。アジア事業は乳原料・チーズの販売が堅調だったが、新型コロナの感染拡大に伴い、日本で業務用乳製品の需要が減少し、国産乳製品在庫が急増したことで輸入乳原料の販売が苦戦した。今期は前年同期比3.8%増収、6.5%経常減益計画。新型コロナの影響が残り減益になるが、国産乳原料在庫の解消や輸入乳原料の需要回復、中国、アセアン向け乳原料・チーズの販売強化により下期に挽回を計画。(松本 直志)                    |
| <b>コーエー<br/>テクモ</b><br>(3635)<br>東証1部<br>6,100円  | 21年3月期3Q累計決算は、前年同月比64.7%増収、営業利益は同3.0倍、経常利益は同2.6倍、最終利益は同2.3倍となり通期の見通しも上方修正した。3Q単独では四半期で過去最高の売上高・利益となった。「ゼルダ無双 厄災の黙示録」が3Q単独で全世界で350万本を突破し大ヒットとなったほか、モバイルでは、中国で「三国志・戦略版」が大きくヒット、日本でも「三国志・霸道」が好調だった。「三国志・戦略版」は4Qに韓国、台湾でもリリース予定。(志田 憲太郎)              |
| <b>信越化学</b><br>(4063)<br>東証1部<br>18,770円         | 3Q決算は、前年同期比2.0%減収、6.9%営業減益、2Q比では8.2%増収、7.8%営業増益。半導体ウエハは長期契約に支えられて高水準を維持。需要の旺盛な北米塩ビ事業の市況上昇効果、在庫調整の進んだシリコンの復調が3Qの業績回復をけん引。4Qも北米の塩ビ事業の好調継続、半導体ウエハは300mmの好調に加えて、200mmの数量増効果が寄与、シリコンも市場回復の継続、電子機能材料はレジストやマスクブランクス好調が見込まれる。通期計画の上振れ着地に期待したい。(多功 毅)     |
| <b>日本電産</b><br>(6594)<br>東証1部<br>14,415円         | 3Q決算はHDDモータが大幅に落ち込んだものの、その他精密小型モータ、自動車市場の回復に加えて電動パワステやブレーキ用モータのシェアアップも寄与した車載セグメント、さらに家電・商業・産業セグメントの収益性改善が寄与し前年比6.1%増収、47.5%営業増益で着地。3Qが想定を上回る推移であったことを踏まえて、通期営業利益計画を従来予想の1,400億円から1,550億円(前年比42.8%増益)へと上方修正。省エネ化を背景に、成長局面の継続が期待される。(多功 毅)         |
| <b>日東電工</b><br>(6988)<br>東証1部<br>9,810円          | 3Q決算は前年同期比8.3%増収、75.6%営業増益、2Q比では7.2%増収、34.5%営業増益。テレワーク関連需要や自動車市場の回復が想定を上回っていることや、4Qについても同様の状況が見込まれることを踏まえて、通期計画については売上高を400億円、営業利益を150億円上方修正し、前年比1.9%増収、29.1%営業増益とした。特に半導体製造工程用部材、有機ELスマホ向け両面テープ、スマホ向け高精度基板が好調。今後は新型コロナワクチンの受託製造の開始も見込まれる。(多功 毅) |
| <b>識学</b><br>(7049)<br>東証マザーズ<br>2,187円          | 21年2月期3Q累計決算は前年同期比35.4%増収、83.3%営業減益。人材採用費の増加やスポーツエンタテインメント事業の赤字により減益になったが、人材強化により主力の組織コンサルティング事業の3Q売上は過去最高を更新。コンサルタント数は昨年2月末の31名から、今年1月時点で52名へ増加し育成も進展。コンサルティングの累計契約社数は前年同期比46.2%増の2,015社へ拡大しており、組織コンサルティング事業が順調に拡大している。(松本 直志)                  |

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

|       |                |           |  |
|-------|----------------|-----------|--|
| 本店営業部 | (03) 3668-5412 | 〒103-0026 | 中央区日本橋兜町 1-8                           |
| 金町支店  | (03) 3600-6681 | 〒125-0041 | 葛飾区東金町 1-22-9                          |
| 高円寺支店 | (03) 3311-1171 | 〒166-0003 | 杉並区高円寺南 3-58-25                        |
| 大岡山支店 | (03) 5754-5523 | 〒145-0062 | 大田区北千束 3-28-1<br>パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F |
| 巣鴨支店  | (03) 3918-6311 | 〒170-0002 | 豊島区巣鴨 3-33-2                           |
| 上板橋支店 | (03) 3935-0311 | 〒174-0071 | 板橋区常盤台 4-22-12                         |
| 深川支店  | (03) 5600-7891 | 〒135-0005 | 江東区高橋 11-1                             |
| 茂原支店  | (0475) 25-1151 | 〒297-0023 | 茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F              |



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990%（ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室